

ADHD Web Seminar

医療法人水明会佐潟荘 医局

平成 29 年 8 月 31 日、ADHD Web Seminar（主催：ヤンセンファーマ株式会社）において、院長の北村が座長を務めました。演者は医療法人社団こども輝き、発達クリニックぱすてる院長、発達と療育支援センターきずな（絆）おさの東條 恵先生で、演題は『ADHD 診療に持続性注意課題 CPT を導入して』でした（CPT : continuous performance test）複数ある注意機能の中でも特に持続性注意（sustained attention）を評価することを目的として、しばしば ADHD の臨床研究では CPT、あるいは CPT 的パラダイムが採用されますが、これを発達クリニックの実臨床に応用する試みは珍しいと思います。講演ではメチルフェニデート（methylphenidate、商品名はコンサータ®）を一定期間内服すると、CPT のいくつかの指数が変化して、時に脳内システムの持続的改善を示唆するような変化もあるように見えるとのこと。このような認知的マーカーを含む、妥当性と信頼性が確立された（バイオ）マーカーは ADHD では未確立ですので、さらなる科学的エビデンスの蓄積が期待されます。